

Kandai Style

2019.12 Vol.479
関西大学通信

関大生のふるさと自慢

香川

お雑煮にあん餅

私は、瀬戸大橋の架かる香川県坂出市の出身です。瀬戸内海に近い町で暮らしていました。穏やかな海がすぐそこにあるので、家を出ると、川や土手や田んぼが広がる景色を見渡すことができ、日の出から日の入りまで見えるくらい空が広いです。夜にはライトアップされた瀬戸大橋も見えます。自転車やバスで浜辺に行くことができたので、高校時代の友人と一緒に服のまま海に入って遊んだのも良い思い出です。

香川県では、お雑煮に“あん餅”を入れます。おつゆに使う白みそのまろやかで甘い香りと調和してとても美味しいです。昨年のお正月は実家に帰れなかったため、お雑煮を作ろうと思い、あん餅を探しているいろいろなお店を回りましたがどこにもなくて。百貨店に行ってもなかったので驚きました！

関大に入学したのは社会学部・メディア専攻の学びに興味があったのと、関西地方で一人暮らしをしたかったためです。大阪での生活はとっても便利です。欲しい洋服を、電車に乗ればすぐに買いに行くことができます。でも、ビルとビルの間からのぞく狭い空を見ると、坂出市を懐かしく感じます。



あん餅雑煮



瀬戸大橋



社会学部3年次生
鎌田 佳穂 さん
(坂出市出身)

宮崎

帰省したら必ずチキン南蛮

私が関西大学に進学を決めたのは、日本史の授業で習った大津事件で、本学創立者の一人である児島惟謙先生(当時大阪控訴院長)が「正義を権力より護れ」の精神で判決を下したことに共感したからです。それまでは、九州の大学に進学しようと思っていましたが、これをきっかけに関大進学を決めました。

地元の紹介ですが、若者に人気があるのは日南海岸のモアイ像、青島の鬼の洗濯岩、鶴戸神宮などで、いずれもインスタ映えする場所です。また宮崎は「観光スポーツ大国」といわれるほどスポーツ施設が充実していて、今春はプロ野球7球団、Jリーグ16チームのキャンプ地となりました。侍JAPANやラグビー代表が合宿をしたこともあり、私は巨人やソフトバンクのキャンプ地巡りをして、プロ選手の凄さを間近で見ることができました。他にも、サーフィン目当てで移住者が増えるほど、「宮崎の波」は人気があります。

食べることなら、チキン南蛮が全国的に有名です。帰省したときは必ず「おぐら瀬頭店」に食べに行きます。このお店は、祖父がタクシー運転手をしていた時に、いつもお客さんを連れて行ったことから、私の家族も常連客となりました。皆さんも宮崎に行かれたら絶対に食べに行ってください。



チキン南蛮



おぐら瀬頭店

政策創造学部2年次生
布施 翼 さん
(宮崎市出身)



自慢

ふるさと

関大生の

関西大学には、近畿圏以外の地域出身の学生が約4,200人在籍しています(2019年5月1日現在・学部生)。今月号では帰省シーズンにあわせて、日本全国・各地域出身の学生から、地元の自慢やお正月の文化などを紹介してもらいました。

北海道

百貨店まるごとタイガース

関西大学に進学したのは、にぎやかな校風に好感が持てたのと、阪神タイガースファンの私が甲子園球場にいつでも行けるからです。父もファンで、子どものときから阪神を応援するため、何度も家族で大阪に旅行したほどです。

故郷の北海道旭川市には熱烈な阪神ファンの社長さんがいて、その人が経営する百貨店「丸善三番館」では、チームが不振な年でも頻りに「来年頑張ろうセール」を実施していました。昨シーズンは最下位に転落しましたが、この店では「やけそセール」と銘打って、各種婦人服を1,000円で売り出していました。

店の外壁には「旭川育ちの名投手」2人がでっかく描かれ、店内に入ると巨大な「親子虎」のぬいぐるみが出迎え、ファンから寄贈された20匹ほどの張り子の虎セットも展示。残念なことに社長さんは最近お亡くなりになられたようですが、お葬式で霊柩車を見送るとき「六甲おろし」を流したそうです。

地元グルメは旭川ラーメンが有名ですが、その中でも「蜂屋」のしょうゆラーメンがおすすめです。旭川に来たときはぜひご賞味ください。



虎のぬいぐるみ



やけそセールチラシ



蜂屋のラーメン

政策創造学部1年次生
守屋 勇雅 さん
(旭川市出身)



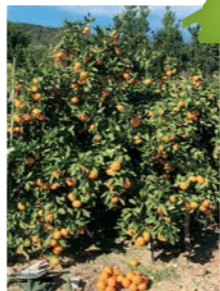
静岡

三ヶ日みかんと手筒花火

小学校1年から高校1年までアメリカで過ごし、静岡に戻ってからは日本の大学への進学を考えていました。ものづくりや空間構成に興味があったので建築学科を希望。東海地区には建築学科がある大学が少なく、地元を離れる流れは自然なものでした。

理系に進みながらも英語を話す環境がほしかった私にとって関大の魅力は、多岐に渡る学問分野がありながらも、文理問わず多くの学部が同じキャンパスにあることでした。受験勉強の末、一般入試で入学し、木下光先生の研究室では、地方自治体プロジェクトへの参加や、国内外のコンペに都市設計プランを出展するなどの研究活動をしています。

地元の浜松市三ヶ日町はみかんの産地として有名で、祖母もみかん農家をしています。12月の週末は家族総出で収穫をし、年末から1月にかけて出荷をします。みかん畑ばかりの町ですが、猪鼻湖と呼ばれる湖では、夏に湖上花火を見ることができ、遠州地方西部で盛んな手筒花火もあります。人が火薬の入った筒を火の粉が降り注ぐ中支え続け、熱気と炎が吹き出す音を体で感じながら見ることができ、とても迫力のある花火です。



三ヶ日みかんの畑



手筒花火

理工学研究科M1
鴨川 絢美 さん
(浜松市出身)



青森

文化財の八戸三社大祭

関大の体育会アイスホッケー部は関西で敵なし、全国的にも強豪というイメージがあり、何と云っても大学の敷地内にホームリンクがあるため、他大学よりも環境が優れているところが魅力的でした。また、部の方針から、学業とクラブ活動の両立もしやすいと考え、関大への進学を希望しました。

私は青森県八戸市出身で、地元で行われる正月行事の一つに「八戸えんぶり」があります。「八戸えんぶり」は、国の重要無形民俗文化財に指定されていて、八戸地方に春を呼ぶ豊年祈願の郷土芸能です。2019年に行われた「八戸えんぶり」では30万6千人のお客さんが来場したそうです。

ふるさとで自慢したいのは「八戸三社大祭」。この祭りも重要無形民俗文化財で、2016年にはユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」に登録されています。毎年7~8月に開催されていて、一番の見どころは神話や歌舞伎等を題材に、各山車組が製作した27台の山車の合同運行です。高さが10m・幅8mにもなり、山車が沿道を通るたび大きな歓声が上がります。

ちなみに、関西での餅の形は丸餅らしいですが、私の地元で正月に食べる餅の形は角餅です。

総合情報学部2年次生
佐々木 亮悦 さん
(八戸市出身)



八戸三社大祭



八戸えんぶり



消費税増税を考える

10月1日から、消費税の税率が8%から10%に引き上げられました。増税前の1カ月の間(2019年8月12日～9月13日)、下宿をしている学生に自身の支出を記録してもらい、税率が8%から10%に変わった場合、どれくらい消費税の負担が増えるのか調査しました。また、家計や生活をやりくりする上で工夫なども紹介してもらいました。



※「税込価格」「消費税(8%)」「消費税(10%)」は参考数値として算出しているため、実際の金額とは誤差があります。 ※「食費」は軽減税率の対象品目のため、「消費税(10%)」の欄に8%の金額を記載しています。 ※非課税取引の項目には「税込価格」「消費税」の欄に「-」を入力しています。 ※各項目への分類・入力に学生の判断で行っています。

● 氣駕さんの支出記録 (8月12日～9月13日) 単位: 円

項目	税込価格(8%)	税抜価格	消費税(8%)	消費税(10%)
食費	7,186	6,653	533	533
外食費	9,894	9,161	733	916
日用品費	756	700	56	70
服飾費	4,752	4,400	352	440
趣味・娯楽費	3,568	3,303	265	330
交通費	6,773	6,271	502	627
住居費	25,000	-	-	-
水道・光熱費	5,366	4,968	398	496
通信費	2,141	1,982	159	198
美容費	1,000	925	75	92
医療費	0	-	-	-
教育費	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
計	66,436	38,363	3,073	3,702

関大に入学してから下宿を始めました。アルバイトをしていないため、家賃を含めた生活費のすべてを、仕送りややりくりしているので、毎日の食事は自炊が基本です。スーパーのちらしをまめにチェックし、買い物では肉が安い店はこちら、牛乳が安い店はこちらというふうには4店舗を回ります。よく買う食材は、焼きそば麺・牛乳・卵・納豆・野菜ジュース・もやし・人参・バナナなどです。よく作る料理は、カレーと焼きそば。消費税が上がっても、これ以上支出を切り詰めようがないので、今まで通り生活します。秋学期に入ったら、空き時間を利用してアルバイトを始めようと考えています。アルバイトは生活費のためではなく、欲しい物を買うための資金に充てたいと思っています。

システム理工学部1年次生 氣駕 尚幸さん



南千里国際学生寮で生活しており、日々寮の共用キッチンで自炊しています。値段の高い肉などの生鮮食品は買わず、野菜中心のメニューです。学食もほとんど利用せず、寮に帰るか弁当を持参しています。アルバイトの給料が手渡しのため、その現金で1カ月の生活をやりくりしており、ほとんど銀行のATMを利用することがありません。目に見えてお金を管理できていることが、節約につながっているのかもしれない。

授業期間中でも毎月の支出は20,000円ほどで、私の場合消費税が8%から10%になっても1カ月に払う消費税の差額はわずかですが、それでも家計への影響は痛いんです。増税自体に反対ではないですが、他に削減できるものがあると思うので、それを実行したうえで増税なら納得できます。

外国語学部1年次生 前田あかりさん



● 前田さんの支出記録 (8月12日～9月13日) 単位: 円

項目	税込価格(8%)	税抜価格	消費税(8%)	消費税(10%)
食費	2,970	2,750	220	220
外食費	4,332	4,011	321	401
日用品費	429	397	32	39
服飾費	0	0	0	0
趣味・娯楽費	9,340	8,648	692	864
交通費	0	0	0	0
住居費	0	-	-	-
水道・光熱費	0	0	0	0
通信費	0	0	0	0
美容費	982	909	73	90
医療費	0	-	-	-
教育費	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
計	18,053	16,715	1,338	1,614

● 青山さんの支出記録 (8月12日～9月13日) 単位: 円

項目	税込価格(8%)	税抜価格	消費税(8%)	消費税(10%)
食費	4,584	4,244	340	340
外食費	1,710	1,583	127	158
日用品費	6,225	5,763	462	576
服飾費	5,292	4,900	392	490
趣味・娯楽費	11,115	10,291	824	1,029
交通費	1,000	925	75	92
住居費	60,000	-	-	-
水道・光熱費	10,671	9,880	791	988
通信費	7,000	6,481	519	648
美容費	1,080	1,000	80	100
医療費	0	-	-	-
教育費	0	0	0	0
その他	2,620	2,425	195	242
計	111,297	47,492	3,805	4,663

大学生になってから一人暮らしをしています。毎日の食事は基本的に自炊で、授業のある日は昼食のお弁当も作ります。家計簿はスマートフォンのアプリを使用し、毎月付けています。食べることで、趣味の本や漫画を買うことを我慢したくないので、それ以外で欲しい物があるときには一度考えるようにしています。消費税の増税は、最初は「2%増えただけ」と思っていたのですが、同じ支出で消費税が約2,000円増えるのを実際に見ると大きな金額だなと思います。2,000円あれば、読みたい単行本が買えるので、食費には軽減税率が適用されるので、増税の影響はあまりありませんが、日用品はセールの際にしか買わないなど、余計な支出をしないようにしたいと思います。

総合情報学部1年次生 青山 千泰さん



今回の調査は夏休み中だったため、授業→帰宅というルーティンがなく、旅行や帰省などによる支出が多い期間でした。データで「見える化」すると数字が明らかになり、ごまかしがきかないですね。大学入学時はお金が足りず、親に頼ることもありましたが、今では家計のやりくりもうまくなりました。口座から余分に引き出さないことがポイントで、2～3日で使う金額を予想して都度引き出し、余計な買い物を防いでいます。

今回の支出はイレギュラーが多かったのですが、普段は1週間ごとに目標値を設定しており、出費目標を1日1,200円・1カ月36,000円にしています。1,200円を超えそうな日は事前に分かっているので、他の日に出費を調整し、目標より抑えることができた週の週末は少し贅沢をします。

消費税増税に対しては、国民一人ひとりがその恩恵を感じられることができれば、意義はあるかと思っています。

環境都市工学部4年次生 安部 行博さん



● 安部さんの支出記録 (8月12日～9月13日) 単位: 円

項目	税込価格(8%)	税抜価格	消費税(8%)	消費税(10%)
食費	24,446	22,635	1,811	1,811
外食費	46,680	43,222	3,458	4,322
日用品費	5,212	4,825	387	482
服飾費	0	0	0	0
趣味・娯楽費	11,780	10,907	873	1,090
交通費	74,056	68,570	5,486	6,857
住居費	51,000	-	-	-
水道・光熱費	1,730	1,601	129	160
通信費	0	0	0	0
美容費	0	0	0	0
医療費	0	-	-	-
教育費	0	0	0	0
その他	1,833	1,697	136	169
計	216,737	153,457	12,280	14,891



PROFESSOR'S COMMENTS
商学部 石田和之教授

皆さんは、自分が1年間にいくらの消費税を支払っているか知っていますか。あるいは、自分の1年間の消費額を把握しているでしょうか。

所得とは違って、消費を把握するのは意外に大変です。例えば、今日1日でいくら使ったかを考えてみてください。それだけでも、消費を計算することが意外に面倒であることが分かるかと思えます。計算に手間が掛かることは、消費税が間接税であることの大きな理由です。

今年10月から、消費税に軽減税率が採用されています。また、来年6月までですが、キャッシュレス・ポイント還元もありま

す。そのため、同じ消費額であっても、何を買うか、どこで買うか、そしてどんな方法で支払うかなどによって、消費税額が違ってきます。「こんなに払っていたんだ!」、「こんなもんか…」など、感想はそれぞれだと思います。

自分の税額を知ることは、税の理解への第一歩です。これをきっかけに、税への関心を高めてほしいと思います。

今回のテーマは…「東京オリンピック・パラリンピックの経済効果」

オリンピックイヤーを迎える2020年1月号では、オリンピック・パラリンピック自国開催による経済効果について考えます。



株式会社西島製作所
TORISHIMA PUMP MFG. CO., LTD.



製造業／営業技術

株式会社西島製作所

伊藤 良さん

大阪府立三島高等学校出身
2004年工学部卒業



暮らしの基盤となるインフラを支える仕事 積んできた経験が、人々のために活かされています

今年創業100周年を迎えた公共用・産業用ポンプメーカーの株式会社西島製作所。その本社に勤務する伊藤良さんは、営業技術部に在籍し、主に海外向けポンプの選定と積算業務に従事しています。具体的には、欧州、東南アジア、中東、米国にある海外事務所が担当する顧客の要求に対して、多種多様なポンプの中から最適な製品を提案し、費用を算出しています。

入社当初は営業職を経験しましたが、翌年に希望した技術部門に異動し、ポンプの設計を担当することに、最初は決められたスケジュールと予算内で製品を作ることに苦労します。そして、たくさんの失敗も経験しましたが、それらをバネにしてポンプを基礎から学んだそうです。「失敗を成長に生かせる環境があって助かりました」と当時を振り返りました。

その後、海外営業本部に配属された伊藤さん。主な業務は、海外事務所です注文を受けて製品を納品するまでの管理と交渉です。海外事務所の担当者は外国人が多く、コミュニケーションのほとんどが英語。英語は苦手でしたが、「やるしかない」と腹をくくって新たな環境に飛び込みました。同僚の外国人から生きた英語を学びながら、必死に業務に取り組んだそうです。同時に文化や考え方の違いにも悩まされました。曖昧な説明では伝わらないため、矛盾のないように論理的に説明し、粘り強く交渉を続けて理解してもらったのだとか。その後7年間、製品の図面管理や現金回収を担うプロジェクトマネジメント業務に従事し、今年の4月から現職に就きましたが、これらの経験がなければ今の仕事は務まらないと言います。

「ポンプは発電所で電気を作る際にも欠かせない重要な機械です。また、日本の消費電力の約3割をポンプが消費するため、効率の良いポンプができれば省エネになり、社会貢献につながります。その他、中東やアフリカなどの水不足が深刻な地域では、海水を真水に変える工程でポンプが使われています。さらに、大雨が降り河川が氾濫しそうなとき、小さな川の水を汲み上げて大きな川へ移すことで氾濫を防ぐのもポンプの役割です。普段は人の目に触れることの少ないポンプが、さまざまな国や地域の人々の生活を根底から支えています。そこにやりがいを感じます」と伊藤さんは熱く語ります。

学生時代の材料工学に関する研究が、ほぼ100%現在の仕事に活かされているそうで、「大学で学んだ学問の基礎がこうつながっているんだなと実感しています。新しいことを学ぶのにも、基礎は大切です。さまざまな年代や国籍の違う人たちと接していると視野が広がりが知識が増えます。経験は社会で生かされるので、新しいことに挑戦してください」とアドバイスをくれました。

ある1日のスケジュール

- 8:00 出社 メールチェック
- 8:30 グループメンバーとスケジュール確認
- 9:00 設計部との打ち合わせ
- 12:00 昼休憩
- 13:00 ポンプの選定・積算作業
- 17:00 グループメンバーと1日の振り返り
- 17:30 翌日の準備
- 18:00 退社



必須アイテムは、一日の業務スケジュールを書き込むノートとペン

Technical sales

VIVA!!

学び易



法科大学院（法務研究科）

「民事訴訟実務演習」

若松 陽子 教授

民事の模擬裁判を通じて、和解の方法を学ぶ。

さまざまな役割を経験することで、相手の立場を理解する力を伸ばします。

法科大学院は、弁護士、検察官、裁判官などの法律家を養成する専門職大学院で、主に法学部出身者が進む法学既修者（2年修了）コースに加え、法律の学習経験を問われない法学未修者（3年修了）コースが設置されています。

司法試験を受験する直前の学生の受講が多い「民事訴訟実務演習」は、弁護士の若松陽子教授と裁判官の経歴を持つ森宏司教授が共同で、実務経験を生かした指導を行っています。

民事訴訟の手続きについて、受任から判決までの時系列に即して、講義と演習、そして模擬裁判を通じて学びます。授業では、実際によくある貸金返還請求の事件を基に、法廷教室や和解室を使った民事の模擬裁判を実施。学生が民事裁判を体験する過程で、争点の整理や尋問事項、事実認定と和解、さらに判決や上訴までを検討していきます。

民事事件は、当事者の諸事情によって判決まで至らない場合が多く、裁判所の仲介により当事者間で合意して終わる和解の割合も多いです。模擬裁判を通じて和解の実践練習ができることが、この授業の特長です。

模擬裁判は、原告と被告とそれぞれの弁護士と裁判官の役割を学生の希望に沿って決め、例えば裁判官役は誰から尋問するかなど筋道を立てて進行を考えたり、原告や被告役は弁護士役と打ち合わせをしたりして練習に励みます。テレビでよく見る「裁判長、異議あり」の掛け声のタイミングなども事前に練習し、本番では実際の裁判に近い状態で実施します。「大まかなストーリーに沿って進行しますが、基本的に学生のやり方に委ねています」と若松教授。2時間通して行う模擬裁判は、和解が成立すれば終了しますが、まれに原告と被告で意見が決裂した場合は判決まで行くこともあります。判決では、控訴や執行までを検討し、最後にそれらを総括して授業は終了します。

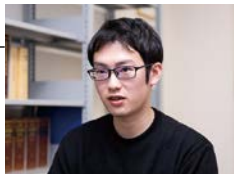
この授業で学んでほしいことが2つあると若松教授は言います。1つは、譲歩です。自分の意見ばかりを押し付けるのではなく、相手の意見も受け入れる必要があるということです。もう1つは事件の筋を見ることです。民事事件では、自身の有利な点を見極めながら、押すところと退くところのさじ加減を身に付けることが重要だと説明します。

「模擬裁判を行うことで、目指す職種以外の立場を経験できます。弁護士になる人が裁判官を経験すれば、裁判官の見解が学べますし、証人役をすれば証人の心理を知ることができます。法曹を目指す人は、相手の立場を理解できる人材になってほしいです」と若松先生は締めくくりました。



清水智也さん（法曹養成専攻 既修者コース2年次生）

民事裁判を模擬体験しながら、実務経験のある先生から実践的な授業を受けられると知って選びました。いろいろな立場を知ることによって、物事を広い視野で見られるようになりました。司法試験後のキャリアを考えた将来設計ができる授業だと思います。



小谷桃子さん（法曹養成専攻 未修者コース3年次生）

個別的案件が多い民事裁判は、和解の方法などが想像しにくかったので、この授業を受講しました。最初は教科書の内容と実務が結びつきにくく、授業を通じて、その関係性を意識するようになりました。さまざまな個性の学生が集まり、互いを高め合っています。



森 宏司 教授

模擬裁判では、臨機応変に判断する能力だけでなく、法廷の作法や和解の交渉の仕方、さらには有利な情報を集める情報処理能力も学ぶことができます。授業ではミスを恐れず、楽しく裁判を体験してください。そしてどの職業を選ぶべきか、自己イメージを高めていってほしいと思います。





99人が申し込んだ「オーダーメイド選書」

関西大学では昨年から芝井敬司学長のもと、「新生に贈る100冊」企画など、学生を対象に多彩な読書啓発運動を展開しています。いずれもユニークな企画ばかりですが、中でも今春から始めた「オーダーメイド選書」は、利用者の1割が実は「本が嫌い」な学生であったことが分かり、担当者を驚かせました。

5つの質問に答える「読書カルテ」

「新生に贈る100冊」企画は、芝井敬司学長と丸善雄松堂、紀伊國屋書店の3者で学生に「お薦めの100冊」を紹介する仕組みですが、中には「どの本を読めばいいのか分からない」と迷う学生もいます。

そこで「本が好きですか?」「興味の湧くものは何?」「本に期待すること」など5つの質問に答える「読書カルテ」を学生から出してもらい、それを参考に両書店の本のプロフェッショナルたちが応募した学生一人ひとりに、その人に合った選りすぐりの1冊とメッセージをメールで届ける仕組みが「オーダーメイド選書」企画です。



「アンドロイドなんて分からんしー」

この企画のモデルになったのは、北海道の小さな書店が数年前に始めた「1万円選書」です。書店の社長が1万円分の本を選んで届けるというサービスで、これを参考に関西大学図書館の担当者が「学生向けで無料」のシステムを準備しました。4月から1カ月間募集したところ99人の申し込みがありました。これは参加した学生自身も意外だったらしく、法学部1年次生の秋富美乃さんは「えっ、私の他に98人も申し込んだのですか」と驚いています。

秋富さんは、「その話は今日はやめておきましょう」(井上荒野著)を紹介されました。「きっと自分では手に取ることのなかった作品です」と言い、最後まで読み切ったそうです。

社会学部3年次生の小山さくらさんは『僕がロボットをつくる理由—未来の生き方を日常からデザインする』(石黒浩著)を紹介されました。「アンドロイドなんて分からんしー」と思って、最初は取っ付きにくかったのですが、実際に読み進めると「日常の暮らしに密着した話題が次々に登場して、まるでドラマを観ているような感覚で読むことができました」と話しています。

9人は「本が嫌い」

利用した99人のうち「本は嫌い」と答えた人が9人もいました。学生によると「嫌い派」の中には「食わず嫌い」の学生もおり、「新生に贈る100冊」の大半が電子ブックだったことから、「スマホで簡単に読める」という理由で申し込んだ人もいます。

学長 推薦図書20冊

- | | |
|--|---|
| <p>01
精神指導の規則
著者/デカルト
出版社/岩波書店</p> <p>02
タテ社会の人間関係
単一社会の理論
著者/中根 千枝
出版社/講談社</p> <p>03
ジャッカルの日
著者/フレデリック・フォーサイス
出版社/角川文庫</p> <p>04
黒い雨
著者/井伏 鱒二
出版社/新潮社</p> <p>05
砂の女
著者/安部 公房
出版社/新潮社</p> <p>06
落日燃ゆ
著者/城山 三郎
出版社/新潮社</p> <p>07
沈黙
著者/遠藤 周作
出版社/新潮社</p> <p>08
ビタミンF
著者/重松 清
出版社/新潮社</p> <p>09
風にそよぐ葦
〈上〉〈下〉
著者/石川 達三
出版社/岩波書店</p> <p>10
ドン・キホーテの末裔
著者/清水 義範
出版社/岩波書店</p> | <p>11
イスラームとは何か
—その宗教・社会・文化
著者/小杉 泰
出版社/講談社</p> <p>12
日本語と外国語
著者/鈴木 孝夫
出版社/岩波書店</p> <p>13
華岡青洲の妻
著者/有吉 佐和子
出版社/新潮社</p> <p>14
水底の歌〈上〉〈下〉
—柿本人麿論
著者/梅原 猛
出版社/新潮社</p> <p>15
事実の読み方
著者/柳田 邦男
出版社/新潮社</p> <p>16
ドングリの謎
—拾って、食べて、考えた
著者/盛口 満
出版社/筑摩書房</p> <p>17
生物はウイルスが進化させた
—巨大ウイルスが語る新たな生命像
著者/武村 政春
出版社/講談社</p> <p>18
ソロモンの指環
—動物行動学入門
著者/コンラート・ローレンツ
出版社/早川書房</p> <p>19
茶の世界史 改版
著者/角山 栄
出版社/中央公論社</p> <p>20
水族館の文化史
—ひとと動物・モノがおりなす藝術の世界
著者/溝井 裕一
出版社/勉誠出版</p> |
|--|---|



商学部 2年次生

武中 花菜さん

観客を楽しませる魅力的なチアリーダーを目指して

「チアリーダーになるのが小学生からの夢でした」と語る武中花菜さんは、大学入学後すぐに応援団バトン・チアリーダー部HELIOSに入部。夢への一步を踏み出しました。

応援団に属するHELIOSは、体育会の応援だけでなく、学内行事や一般企業等から依頼されたイベントでのパフォーマンスや、競技チアのJAPAN CUP日本選手権大会への出場、12月に行われる単独公演「HELIOS POWER」に向けて、厳しい練習に取り組んでいます。

人をリフトしたり宙を舞うアクロバットな動きが醍醐味の組体操のようなスタッツでは、一番上に乗るトップ、その真下でトップを支えるベース、ベースの後方でタイミングを指示するスポットというポジションがありますが、武中さんは長身を生かせるスポットで活躍しています。

平日だけでなく、土日も長時間、ダンスとスタッツの練習に明け暮れています。しかし、クラブ内に学業との両立を重んじる雰囲気浸透しているため、授業もしっかり取り組んでいます。練習が厳しい半面、普段の生活の中に小さな幸せや喜びを感じられるようになったという武中さん。友人とのちょっとした会話も楽しいのだとか。

これまでのクラブ活動の中で一番印象的だったことは、8月に開催されたJAPAN CUP2019で、チーム史上初の決勝トーナメント進出を果たし、出場チーム最高得点の304点を獲得したことでした。経験したことのない達成感を味わい、生まれて初めてうれし泣きをしたといいます。通常、競技はスタッツの難易度で得点を競いますが、HELIOSの強みは表現力。声を出したり、全力で笑顔をつくったりして、強みを最大限に発揮したことが高得点につながりました。「どうすれば本番で成功するか」を常に意識して練習してきた武中さんは、本番でも緊張せず「練習通りにやればできる」と自信を持てたそうです。「厳しい練習を乗り越えられたのは、仲間との助け合いでした。練習を通して信頼関係を築くことができました。それがチアリーディングの魅力の一つです」。この大会はチームの結束力の強さを証明できた場でもありました。また、競技内容以外の活動も評価され、応援団部門で日本一の栄冠にも輝いたのです。

1年次に初めて参加した「HELIOS POWER」では、幕が開いてパフォーマンスを始めた瞬間、観客の声援や笑顔を見て、ワクワクが止まらなくなったという武中さん。そのとき、人を楽しませることが好きなのだと実感したそうです。

8月に参加したハワイでのチアリーディングキャンプでは、現地のチームメイトから「自分の殻を破りなさい。もっとできるから」と励まされ、自分をより良く見せる表現方法を学んだといいます。今後はより向上心を持って練習に励み、多くの人を元気にする魅力的なチアリーダーになりたいと目を輝かせました。



JAPAN CUP日本選手権大会の様子

次回は、武中さんからのご紹介で久保田 拓真さん(社会学部 2年次生)が登場。お楽しみに!



Hana Takenaka

学部・研究科ピックアップ

法学部／法学研究科

研究論文ノススメ

12月は、研究論文の提出月です。法学部では、研究論文の単位は必修ではありません。論文の作成には時間がかかります。しかも、2単位しか認定されません。「労多くして功少ない」。そう思っていないですか？

しかし、学生生活の集大成として、研究してきたことを論文にまとめることは、皆さんにとって何物にも代えがたい財産となります。問題解決能力や文章作成能力が、格段に向上するからです。こうした能力は、どのような進路を選ばれても、必ず役に立ちます。奮って提出してください。(入試主任 中野徹也教授)

政策創造学部／ガバナンス研究科

アカデミックフェアの開催

毎年12月になると、政策創造学部ではアカデミックフェアが開かれます。このイベントでは、3年次生を中心に、学生たちが日頃ゼミなどで研究してきたテーマに基づき、研究報告を行います。学生に加えて教員が審査員となり、講評や採点を行います。優秀な報告は表彰の対象となります。(学生主任 五十嵐元道准教授)



文学部／文学研究科 東アジア文化研究科

第10回日中伊院生フォーラム

9月12日、13日の両日、恒例の日中伊院生フォーラムがローマ大学で開催されました。

参加者は東アジア文化研究科の院生を中心に計29名で、英語での研究発表を行い活発な議論がなされました。このフォーラムは今年で10年目になりますが、これだけ継続して院生の国際学術交流を行っているのは全国的に見ても稀で、「継続は力なり」で今後一層の成果を期待しています。(東アジア文化研究科 内田慶市教授)



外国語学部／外国語教育学研究科

Wikipediaの使用について

私は、毎日のようにWikipediaを使用しています。Wikipediaは、情報源が読者からの投稿によるもので鵜呑みにはできないものと言われているのですが、私自身の研究にとっては背景知識の優れた情報源であると考えます。これにより、学びたい事の一般的な理解を素早く得ることができます。もちろん、Wikipediaからコピーするのではなく、研究に関する本や記事を見つけることも必要ですので、自分自身に多くの問かけをし、学んだことを友人と共有すれば、素晴らしい会話が生まれるでしょう！(アラン・ハント教授)

経済学部／経済学研究科

いよいよ研究発表大会、本番！

この時期、経済学部の3年次生は学内ゼミ大会に加えて、他大学との対抗ゼミや学外の研究発表大会の本番を迎えます。

日本学生経済ゼミナール大会、西日本インカレ(合同研究会)、WEST研究論文発表大会など多種多様。これまでの研究成果を発揮してくれることを期待しています。(学部学生相談主事 岡田啓介准教授)



人間健康学部／人間健康研究科

ダンスを通じた交流に学ぶ

人間健康学部の地域連携事業“みんなで踊ろう”では、平均年齢67歳の参加者と学生と一緒にダンスを創り踊っています。特に、毎年11月に開催する公演に向けての取り組みは、世代やダンス経験を超えて、他者との関係構築や自己理解を学ぶ上で、貴重な機会となっています。(学部学生相談主事 原田純子教授)



各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部／商学研究科

ビッグデータから役に立つ情報を

商学部の特別プログラムの一つ、DSIプログラムはビッグデータから役に立つ情報を抽出するため、ITの基礎からビジネスインターンシップによる実践経験まで幅広い知識を修得します。産学連携にも参加し、貴重な体験を得る機会になり、データサイエンティストへの一歩を踏み出すことができます。(矢田勝俊教授)



産学連携プログラム科目での企業発表

総合情報学部／総合情報学研究科

世界遺産の魅力をアプリで世界に発信

世界遺産一覧表への記載が決定した「百舌鳥・古市古墳群—古代日本の墳墓群—」の魅力を世界に発信するために、総合情報学部堀研究室はこれまでに制作・開発してきた百舌鳥・古市古墳群マップアプリと仁徳天皇陵古墳模型映像コンテンツの英語版を新たに公開しました。(教学主任 森尾博昭教授)



(教学主任 森尾博昭教授)

社会学部／社会学研究科

集大成としての卒業研究

毎年12月は、卒業を控える4年次生にとって卒業研究を仕上げる大変かつ大切な時期になります。それまで「児童・生徒」と呼ばれていた皆さんは、大学に入って「学生」と呼ばれるようになりました。その中で皆さんは、ただ知識を得るだけでなく、そこに潜む問題や未知の課題を見だし、その解決策を検討し、世間に発信できる人間になることを目指してきたはず。これから自信を持って社会に飛び出すためにも、大学生活の集大成として納得のいく卒業研究に仕上げられるよう、応援しています！(学生主任 細越寛樹准教授)

社会安全学部／社会安全研究科

9月13日に国際シンポジウム開催

社会安全学部は、2020年に10周年を迎えます。そのプレイベントとして、高槻ミューズキャンパスで去る9月13日に、「International Symposium on Strategy of Disaster Risk Management for Sustainable Growth」を開催しました。シンポジウムでは、9月9日から13日まで実施したPDM (Ph. D of Disaster Management Program) サマーキャンプの参加者によるプロジェクト成果報告のほか、国内外から招いた6人の研究者がプレゼンテーションを行いました。参加した学生にとって、国内外の研究者や学生と交流する大変貴重な場となりました。PDMはインドネシアから留学生が加わり、9月末より本格始動しました。(小山倫史准教授)

専門職大学院トピックス

会計専門職大学院

12月14日(土)に進学説明会を開催

会計専門職大学院では、12月14日(土)13時から新関西大学会館にて進学説明会を開催します。内容としては、本大学院の全体的な概要の説明から、実際に学んでいる在学生との懇談会、そして、24時間利用可能な自習室等の施設見学や、個別相談へと続きます。既に会計を学習済みの方はもちろん、これから会計を学ぶ方、また学部を問わず大歓迎です。社会に出る前により高度な能力を身に付けてみることを考えてみませんか。多数のご来場をお待ちしています。

なお、本大学院の1月募集など入試の詳細につきましては、本大学院のウェブサイトをご覧ください。(三島徹也教授) <http://www.kansai-u.ac.jp/as/admission/index.html>

併設校トピックス

関西大学北陽高等学校

全国高校総合体育大会 初出場!!

4~6月に行われた大阪高校総体バスケットボール大会において、昨年度決勝リーグ4位の雪辱を晴らし、初優勝を飾ることができました。その結果、6月の近畿大会と7月のインターハイの出場が決まり、大会の目標を優勝とベスト8として臨みましたが、近畿大会は3位、インターハイはベスト32という結果になりました。

今回の経験を糧に、冬のウィンターカップで全国ベスト8以上を目指してもう一度がんばりますので、応援よろしくお願ひします。

(バスケットボール部顧問 高木稜教諭)



システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部／理工学研究科

来年に向けて

新元号になって初めての年末となりました。平成から令和へと元号が変わった今年、皆さんはどのような一年を過ごされたでしょうか。

1年次生は、生活が大きく変わった一年であったと思います。入学前に立てた今年の目標は達成することができましたでしょうか。予想もしなかったことが多く起き、予定通りにはいかなかった一年だった人もいるかもしれませんが、それも良い経験です。来年の目標に役立てるようにしてください。

2年次生は、大学生活にもすっかり慣れてこの一年を過ごされたと思います。しかし大学生活も

そろそろ折り返し地点が見えてきて、卒業後どうしようか考える頃ではないかと思います。12月1日には2年次生のご父母・保護者を対象とした「キャリアプランニングセミナー」が開催されました。保護者の方々を交えて話し合う良い機会になれば幸いです。

3年次生は、卒業後の進路に向けて行動を始めた頃でしょう。大学院を目指す方は、自分の苦手とする分野を基礎からもう一度学ぶことを考えてみてはいかがでしょうか。また、就職を考えている方は、エントリーや企業説明会に向けて業界研究や自己分析を進めていることでしょうか。

ただ、勉学もおろそかにならないように注意してください。

4年次生は、特別研究をまとめるために忙しい日々を送られていることでしょうか。関西大学で学んだ4年間の集大成として、悔いなく満足できる成果が得られることを期待しています。

また理工系3学部では、安全衛生に関する取り組みの一環として「安全衛生週間」が実施されました。この機会に、自身の研究・実験の安全衛生についてもう一度考えてみましょう。

(化学生命工学部入試主任 矢島辰雄教授)

Attention 大学からの重要なお知らせ

試験対策をしっかりと立て、1年間を有意義な結果で締めくくりましょう。

「定期試験(筆記試験)」「到達度の確認」の注意事項・受験心得

① 学生証は必需品!

学生証がない場合は、試験を受験できません。
○紛失した場合：再発行の手続きを。
教務センター、または各キャンパス事務室にて。
○試験当日に忘れた場合：「受験許可証」の発行を。
教務センター・各学舎授業支援ステーション、または各キャンパス事務室にて。

④ 不正行為には厳正に対処!

不正行為をした場合は、秋学期試験ですでに受験した科目は全て無効になり、残りの科目も一切受験できません。また、答案の持ち帰り、故意に学籍番号・氏名を偽った場合も不正行為と見なされます。

② 遅刻は厳禁!

授業も試験も遅刻は厳禁。受験できない場合もあります。また、交通機関の遅延など、不測の事態にも対応できるように、早めの通学を心掛けてください。

⑤ 病気など正当な理由で受験できない場合は...

医師の診断書など証明書がある場合は、「追試験」・「到達度の確認に相当する学力確認」を受けることができます(1科目につき、受験料1,000円)。
教務センター、または各キャンパス事務室で手続きしてください。

③ 試験システムをチェック!

通常授業と曜限や教室が異なったり、同じ科目でも教室が分かれている場合があります。事前に「試験システム」の確認を忘れずに。
○学籍番号・氏名を記入するため、ボールペンは必須です。(ただし、消せるボールペンは使用不可)
○携帯電話・スマートフォン、ウェアラブルデバイス等は時計として使用できません。

⑥ 成績発表の日時・確認方法

インフォメーションシステムで発表します。詳細は「試験システム」で確認してください。

関大トピックス

テニス部の喜多美結さんが、世界デフテニス選手権大会で優勝!

10月10日～18日にトルコのアンタルヤで開催された、世界デフテニス選手権大会において、体育会テニス部の喜多美結さん(化生2)が、女子シングルの部で2013年のデフリンピック金メダリストのハイケ・アルプレイト(ドイツ)を6-4、6-4のストレートで破り、世界一に輝きました。

喜多さんは「世界デフテニス選手権大会と同時期に、テニス部の全日本大学王座決定戦があって、それに向けて1年間がんばってきた。王座決定戦に出場できなかったのは悔しかったけれど、チームのみんなが『世界選手権がんばって!』と応援してくれたので、世界大会での優勝に懸ける思いは強かった。でも、実際に優勝できるとは思っていませんでした。自分の思っていた以上のプレーで優勝することができて、チームのみんなに『ありがとう』という気持ち

でいっぱい」と喜びを語りました。

10月30日には、黒田哲也監督とともに芝井敬司学長と池内啓三理事長を訪れ、優勝の報告を行いました。



芝井学長(右)、黒田監督(左)と



世界デフテニス選手権大会にて(写真提供:本人)

ハンドボール部男子、初の無敗で4年ぶりの関西学生リーグV!

関西学生1部秋季リーグ戦(男子)は、10月13日に最終戦が行われ、本学は関西学院大との試合で25-23と競り勝ち、通算成績8勝1分勝ち点17で4年ぶりの優勝を達成しました。



胸上げされる下柳裕嵩主将(文4)
(写真提供:関大スポーツ編集局)

春季リーグ戦は3勝4敗2分で6位となり、この秋に懸けていた選手たち。同部初の無敗での優勝で、全日本学生選手権大会へ出場しました。

テニス部女子、全日本大学王座決定試合で同部初の準優勝! 男子は3位

10月10日～13日、愛媛県総合運動公園で行われた全日本大学王座決定試合。本学は男女とも出場し、男子は昨年に続き3位。女子は初めて決勝に進出しましたが、惜しくも敗戦。それでも同部初の準優勝を成し遂げました。

女子決勝の対戦相手は筑波大。両校とも初優勝を懸けた戦いは双方譲らず、2勝2敗で最後のシングルスまでもつれました。残念ながら初優勝はなりませんでした。試合時間が10時間30分にも及んだ両校には観客席から温かい拍手が送られ、選手の健闘をたたえていました。



準優勝の女子チームと3位入賞の男子チーム
(写真提供:永富慎也氏)

バレーボール部女子、関西大学秋季リーグ戦で準優勝!

関西大学1部リーグ戦は10月20日に上位リーグ最終戦が行われ、本学は帝塚山大に3-0でストレート勝ちし、同部として初めて秋季リーグ準優勝に輝きました。

バレーボールの1部リーグは12大学が2つのブロックに分かれて、まず1次リーグを行い、その後上位6大学による上位リーグによって最終順位を決定します。春季3位の本学は1次リーグを5勝無敗の上々のスタート。続く上位リーグで京都極大に破れたものの4勝1敗(通算成績9勝1敗)で見事に準優勝の成績を挙げました。



秋季リーグ初の準優勝
(写真提供:関大スポーツ編集局)

この結果、本学は東京で行われる全日本大学女子選手権大会へ出場することになっており、川西花菜子主将(人4)は「関東のチームに勝って、良い成績を残したい」と抱負を語りました。

拳法部の岡本さんが全日本大会で優勝!

10月20日に行われた全日本学生個人選手権において、岡本敦美さん(文4)が優勝、尾藤はるなさん(文2)が3位となりました。岡本さんは、決勝戦で延長戦にもつれ込む接戦となりましたが、相手との間合いをうまく保ちながら試合を進め、最後は膝蹴りで勝負を決めました。



優勝の岡本さん
(写真提供:関大スポーツ編集局)

関大人 四方山話 ◆「ノマド(遊牧民)のすすめ」

よもやまばなし



私は、生まれ故郷の石川県で高校卒業まで過ごし、その後、大学・大学院の頃は東京・神奈川で生活した。最初の勤務地が沖縄で、現在、大阪で暮らしている。この間、2年間のパリ生活も経験した。さまざまな土地で過ごした経験は、全て今の自分を形作っている。それも、他の文化を一方向的に受容するというものではなく、驚き、反発、解釈、理解等の格闘の末の受容である。こうして、アイデンティティが多層化された「私」になった。

学長補佐 法学部教授 高作正博

今回の特集は「学生によるふるさと自慢」である。「ふるさと」は、一度離れて暮らした経験を持つと、違って見えるもの。ただ、それは「ふるさと」が変わったのではなく、それを見る「私」が変わったと考える方がよいであろう。アイデンティティを多層化し、自分を豊かにし、今までは異なる自分になるために、短期・長期の「ノマド」生活をおくってみてはどうだろうか!それが私たちの生きる活力になるかもしれない。

編集後記

本号では、特集でふるさと自慢、誌上教室で消費税増税を取り上げました。昨今ニュースになっている前者に係るふるさと納税の諸問題や、後者の消費税増税を機に、徴収された税の使い道について考えた人も多いでしょう。本号の内容が、応能負担と応益負担、国税と地方税など税制のあるべき姿や、持続可能性を含めた日本の財政自体の在り方について、皆さん自身の考えをまとめる良いきっかけとなってくれればと思います。
(広報委員・政策創造学部教授 内藤友紀)



関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日:2019年12月2日
発行:関西大学広報委員会
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
電話:06-6368-1121(大代表)

今月の表紙

作者:中井 聡美さん(2019年社会学部卒業)
作品名:「喜喜」
文化会美術部に所属していた中井さんが、2年次生の時に制作した作品。